

平成 28 年度の会議における主な意見について

1 平成 28 年度 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議の実施状況

圏域	開催日	開催場所
市原	平成 28 年 8 月 29 日 (月)	市原市急病センター
印旛	平成 28 年 9 月 7 日 (水)	印旛合同庁舎大会議室
香取海匝	平成 28 年 9 月 8 日 (木)	東庄町公民館
君津	平成 28 年 9 月 9 日 (金)	君津健康福祉センター
東葛北部	平成 28 年 10 月 20 日 (木)	東葛飾合同庁舎第 1 会議室
東葛南部①	平成 28 年 10 月 20 日 (木)	習志野市健康福祉センター
千葉	平成 29 年 1 月 18 日 (水)	千葉市総合保健医療センター
山武長生夷隅	平成 29 年 1 月 23 日 (月)	長生合同庁舎
東葛南部②	平成 29 年 3 月 3 日 (金)	習志野市健康福祉センター
安房	平成 29 年 3 月 8 日 (水)	亀田医療大学本館第 1 会議室

2 会議における主な意見

(1) 地域の医療提供体制について

- 回復期患者の病状が急変した場合の対応について、直ぐに急性期に転院出来るのが理想だ。(市原圏域)
- 急性期から回復期のスムーズな患者の受け入れ体制が、患者や県民の安心に繋がる。退院支援が大切だ。(市原圏域)
- 回復期が不足と言われていたが、これから病床が増加する見込みであり、そこまでニーズが増えるのか疑問。(印旛圏域)
- 高度急性期・急性期・回復期・慢性期のベッドコントロールがしっかり出来ないと、在宅医療は進まない。(香取圏域)
- 地域医療の破綻を防ぐためにはお互い協力することが必要だが、経営も成り立たなければならず、調整が難しい。(東葛北部圏域)
- これまでは市町村単位で救急の補助などの制度が別々につくられ、市町村間に壁があ

る。他市町村とともに検討を進めるためには、こうした壁があることも踏まえて県は対応されたい。(東葛北部圏域)

- 病診連携を強め、より多くの診療所医師に在宅を担ってもらいたい。(東葛北部圏域)
- 地域内での移動時間はそう長くないので、どういう患者はどこの救急機関で受け入れるのかなど、役割分担をしっかりとさせるべきだ。(東葛南部圏域)
- 精神科患者が身体症を併発すると、精神科を持たない病院ではすんなりと受け入れてもらえない。(東葛南部圏域)
- 認知症の罹患率・重症度で今後その方たちをどう看取っていくかを含めて計画の中に策定していくべきではないか。(千葉圏域)
- 実際の稼働率が低いのに「必要」とされているなら、より分析を行う必要があるのではないか。(東葛南部圏域)

(2) 病床機能報告制度

- 病棟単位の報告である病床機能報告と、病床単位の推計値である必要病床数は必ずしも一致するものではなく、単純に比較することは出来ない。国が示す病床機能報告の例示や定義も変化している。(各圏域)
- 機能別の患者像が曖昧。(各圏域)
- 速報値の公表等、迅速な対応をお願いしたい。(千葉圏域)
- 今後開設の見込まれる医療機関の整備計画についても留意する必要がある。(印旛圏域)

(3) 医療資源の確保

- 医療従事者が不足。医師・看護師確保対策が重要。(各圏域)
- 看護職員の人材が不足している。看護職員の離職後の再就職者が少ない。子育てとの両立や保育所設置等の環境づくりが大切ではないか。(君津圏域)

(4) 会議について

- 関係者相互で医療提供体制の在り方について意見交換することは、地域に望ましい医療連携体制の構築に繋がる。重要な会議だ。医療機関の実情を互いに理解することで、連携が図られる。(市原圏域)

○これまで病院の代表者が一堂に会して話し合う機会がなかった。地域医療構想をきっかけとして、医療関係者が集まって話し合う場を立ち上げたい。（君津圏域）

○関係者が多い都市部においては、圏域を分けて顔の見える形で議論することが大切だ。保健所単位で協議したらどうか。（東葛南部圏域）

⇒保健所管轄圏域（習志野・市川・船橋）で意見交換会を開催

平成 29 年 1 月 12 日〔習志野〕 / 17 日〔船橋〕 / 20 日〔市川〕

（5）医療圏のあり方について

○各郡市で医療需要に対応しつつも、「この疾病についてはこの地域とこの地域との組み合わせで対応する。」等、きちんと議論を続けたい。（山武長生夷隅圏域）

○住民の行動が重視されるべき。実際に患者が受療している地域との話し合いがおろそかにならないように、現実的に考えるべきだ。（山武長生夷隅圏域）

（7）その他

○医療連携を推進するにあたって、保険者のアンケート結果やレセプトデータの提供等について協力したい。（保険者）

○慢性期の機能については、介護施設とも重複する部分もある。地域によっては介護施設が増えたことで、グループホームに空きが生じているという話も聞く。介護施設に関するデータも参考にしながら議論ができるとよい。（君津圏域）

